



平成25年10月17日

各位

会社名 芝浦メカトロニクス株式会社  
 代表者名 取締役社長 南 健治  
 (コード番号 6590 東証第1部)  
 問合せ先 常務取締役 経営管理本部長  
 道嶋 仁  
 (TEL 045-897-2425)

## 平成26年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年4月25日に公表しました業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成26年3月期 連結業績予想の修正について

(1) 第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	20,000	500	400	300	6円07銭
今回修正予想(B)	16,300	140	50	40	0円81銭
増減額(B-A)	3,700	360	350	260	
増減率(%)	18.5	72.0	87.5	86.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績	13,000	489	634	1,825	36円94銭

(2) 通期(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	43,000	1,400	1,000	800	16円19銭
今回修正予想(B)	36,300	700	400	300	6円07銭
増減額(B-A)	6,700	700	600	500	
増減率(%)	15.6	50.0	60.0	62.5	
(ご参考) 前期実績	30,399	59	358	1,416	28円66銭

### (3)業績予想修正の理由

液晶パネル業界は、テレビ市場の低迷が続いていますが、中国において新規設備投資がありました。また、スマートフォンやタブレットなどモバイル機器の製品市場は好調であるものの、中小型パネルおよびタッチパネル分野の設備投資は慎重な動きが見られました。

半導体業界は、先端分野への設備投資は堅調に推移しましたが、一部で投資の先送りも見られました。

第3四半期以降も液晶パネル業界、半導体業界ともに投資に慎重な動きが続くものと予想しています。

このような状況のもと、第2四半期連結累計期間については受注が減少したことにより売上高および利益が前回予想を下回る見込みとなりましたので業績予想を修正いたします。また、第3四半期以降も受注が軟調であることが予想されますので通期の業績予想についても修正いたします。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上